

表 2.2-24 2分類別の組成（左表）と人工物の大分類別の組成（右表）

項目	重量(kg)	容量(L)	個数(個)
人工物	29.2	478	295
自然物	88.2	1,000	135
合計	117.3	1,478	430

項目	重量(kg)	容量(L)	個数(個)
プラスチック	16.4	416	269
天然繊維・革	0.0	0	0
ガラス・陶器	0.0	0	0
金属	0.2	3	9
紙・段ボール	0.0	0	0
ゴム	1.0	9	13
木・木材系	11.5	50	4
電化製品・電気機器	0.0	0	0
その他	0.0	0	0
人工物合計	29.2	478	295

注) 重量(kg)の0.0は0.1kg未満を示す。容量(L)の0は1L未満を示す。個数(個数)の0は出現なしを示す。

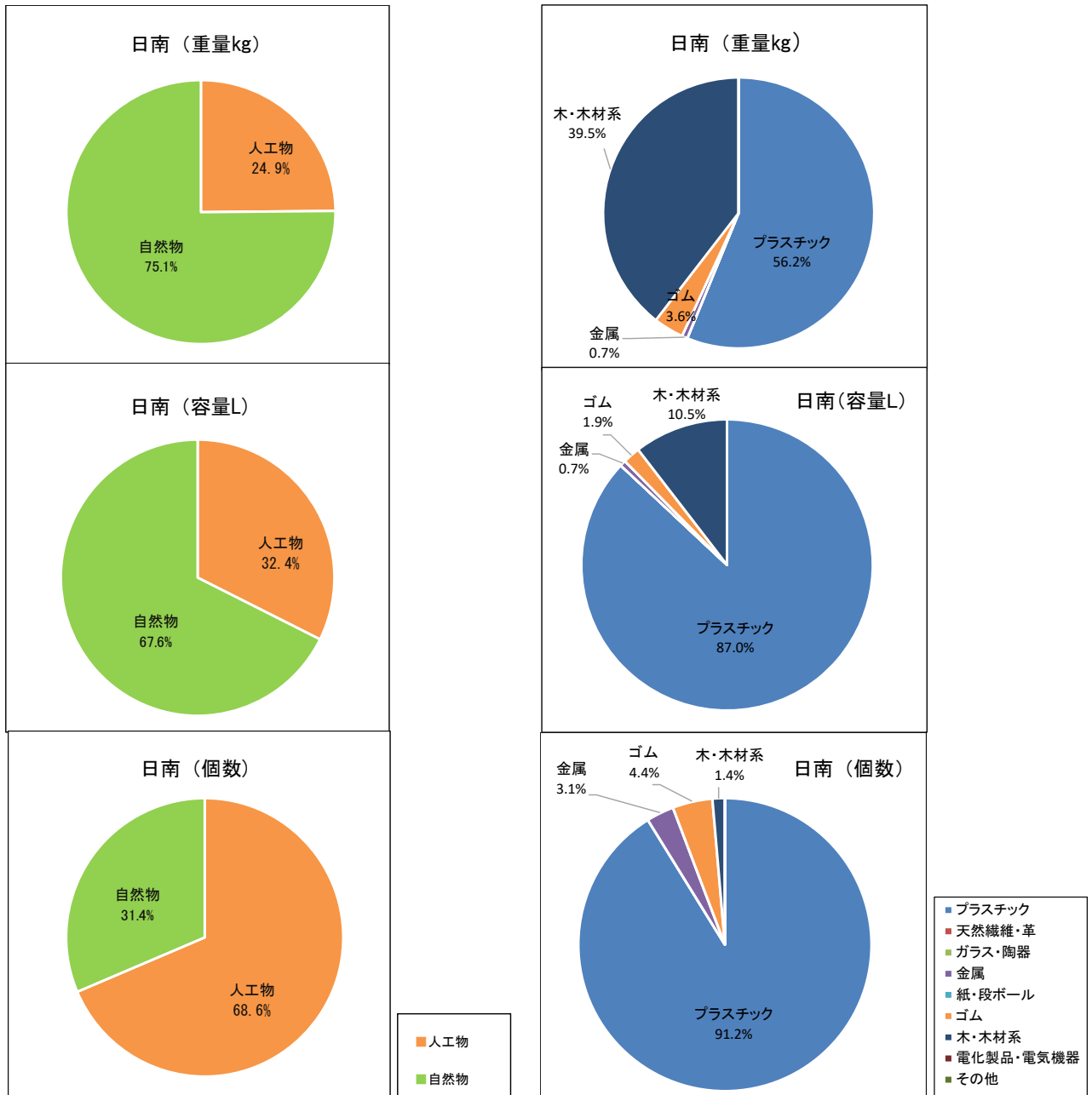


図 2.2-31 2分類別の組成（左図）と人工物の大分類別の組成（右図）

表 2.2-25 プラスチックの容器包装等の組成

分類	重量(kg)	重量(%)	容量(L)	容量(%)	個数(個)	個数(%)
容器包装	6.3	38.4	155	37.3	202	75.1
製品	2.7	16.7	88	21.2	18	6.7
漁具	7.4	44.9	173	41.5	49	18.2
合計	16.4	100.0	416	100.0	269	100.0

※1 発泡スチロール片等、劣化して微小であったものは、個数の計測はしていない。

	分類	重量(kg)	容量(L)	個数(個)
容器包装	飲料用ボトル	4.43	125	132
容器包装	その他プラボトル類	1.26	18	22
容器包装	容器類(調味料容器、トレイ、カップ等)	0.09	4	15
容器包装	ポリ袋	0.52	8	33
漁具	漁網、ロープ	4.44	90	21
漁具	フイ	1.87	12	15
漁具	発泡スチロールフイ	0.94	70	5
漁具	その他漁具	0.11	1	8
製品	カトラリー(ストロー、フォーク、スプーン、ナイフ、マドラー)	0.00	0	0
製品	その他プラスチック(ライター、注射器、発泡スチロール片等)	2.74	88	18
	合計	16.4	416	269

注) 重量(kg)の0.00は0.01kg未満を示す。容量(L)の0は1L未満を示す。

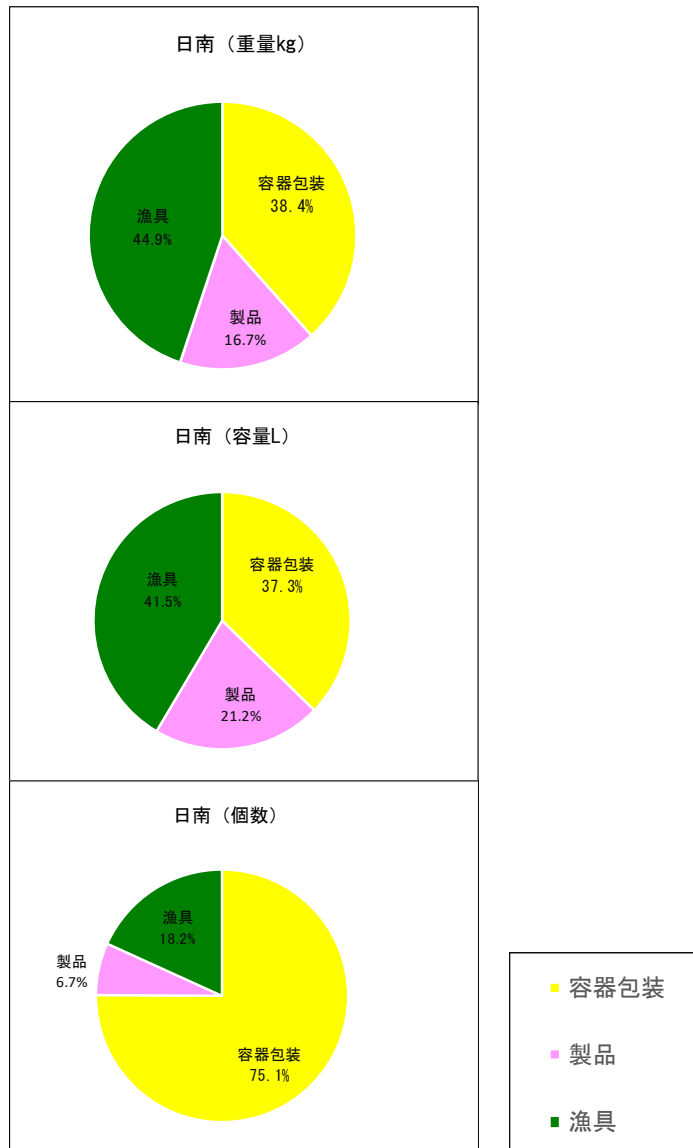


図 2.2-32 プラスチックの容器包装等の組成

表 2.2-26 過年度調査 (H29 年度) 結果

過年度調査 (H29 年度 : 左表) と本年度調査 (右表 : 再掲)

項目	重量(kg)	容量(L)	個数	項目	重量(kg)	容量(L)	個数(個)
人工物	43.4	352	274	人工物	29.2	478	295
自然物	71.0	120	26	自然物	88.2	1,000	135
合計	114.4	472	300	合計	117.3	1,478	430

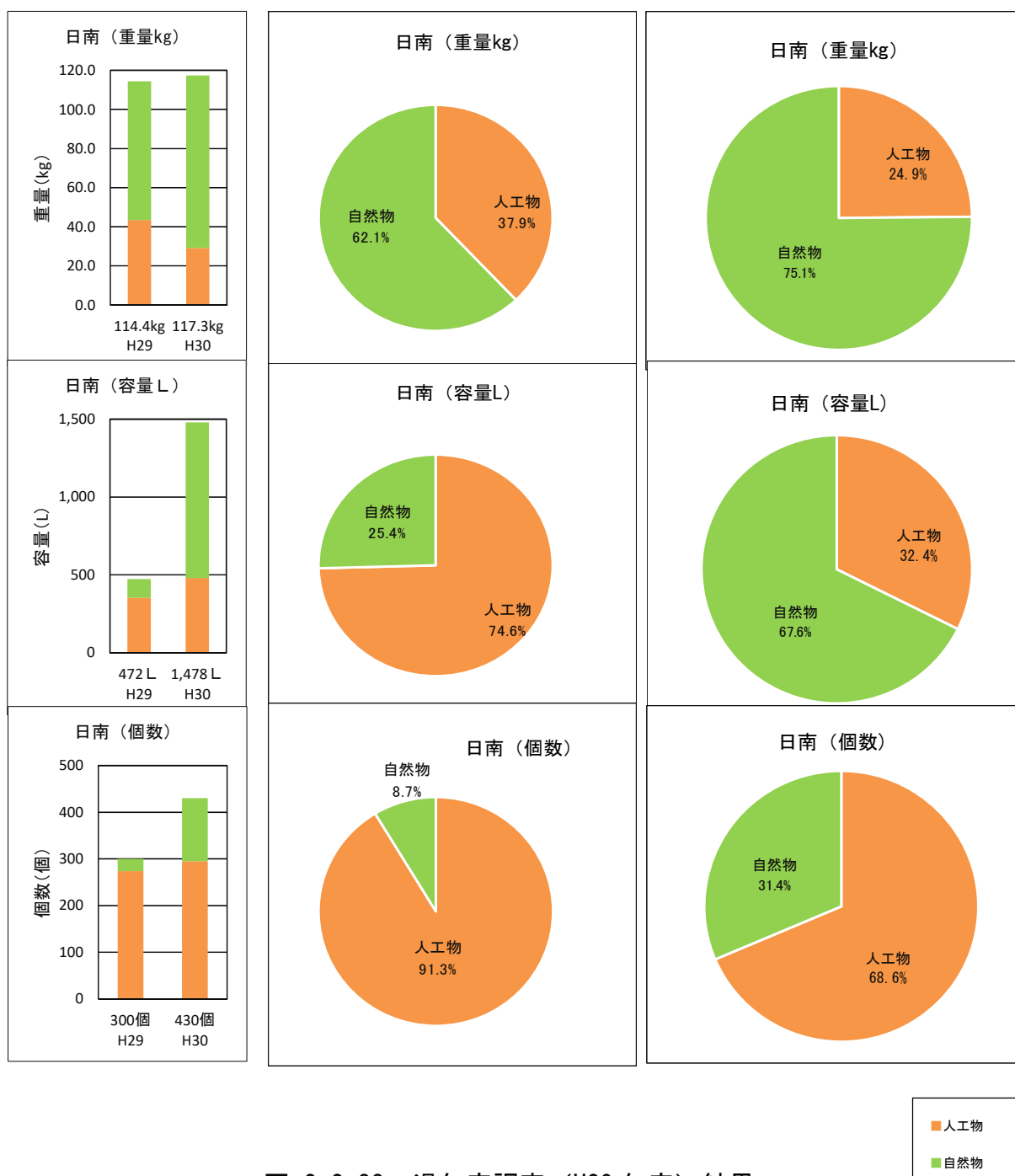


図 2.2-33 過年度調査 (H29 年度) 結果

左図 (棒グラフ) : 過年度調査 (H29 年度 : 左側) と本年度調査 (右側)
 中図と右図 (円グラフ) : 過年度調査 (H29 年度 : 中図) と本年度調査 (右図 : 再掲)

2.2.10 鹿児島県南さつま市吹上浜（前ノ浜）

鹿児島県南さつま市の吹上浜（前ノ浜）は、海岸線長約 1km の砂浜で、黒潮の中流に位置し、黒潮本流から分岐した流れが到達する開放性の海岸である。近傍の万之瀬川水系の漂着ごみも多いものと推定される。主要な河川に近い距離にあり、本調査以外で清掃は行われていない。

本調査地点で回収された漂着ごみは、重量 175.9kg、容量 1,596L、個数 283 個であった。

2 分類別の組成は、重量、容量ともに、自然物がそれぞれ 87.8%、81.5% と多く、個数では人工物が 60.8% と多かった。重量、容量の割合が多かった自然物は流木、灌木で、個数の多かった人工物はプラスチックであった。

人工物の大分類別の組成は、重量、容量、個数ともにプラスチックが多く、それぞれ 62.7%、82.6%、76.7% であった。プラスチックの容器包装等の組成は、重量、容量ともに、製品がそれぞれ 48.0%、73.5% と多かった。個数は容器包装が 60.6% と多かった。重量、容量の割合が多かった製品はその他プラスチックが 6.4kg、180L であった。個数の割合が多かった製品は飲料用ボトル（43 個）であった。

過年度調査（H26 年度）で回収された漂着ごみは、重量 581.0kg、容量 4,859L、個数 1,217 個であった。2 分類別の組成は、重量、容量では、自然物がそれぞれ 77.6%、74.5% と多かった。個数では、人工物が 75.8% と多かった。

本年度調査結果と過年度調査結果を比較すると、2 分類では、重量、容量ともに自然物が多く、個数では人工物が多かった。



図 2.2-34 調査枠の回収前・回収後の状況

表 2.2-27 2分類別の組成（左表）と人工物の大分類別の組成（右表）

項目	重量(kg)	容量(L)	個数(個)
人工物	21.4	296	172
自然物	154.5	1,300	111
合計	175.9	1,596	283

項目	重量(kg)	容量(L)	個数(個)
プラスチック	13.4	244	132
天然繊維・革	0.1	1	2
ガラス・陶器	0.3	0	3
金属	0.2	3	10
紙・段ボール	0.0	0	2
ゴム	0.6	5	18
木・木材系	6.8	42	5
電化製品・電気機器	0.0	0	0
その他	0.0	0	0
人工物合計	21.4	296	172

注) 重量(kg)の0.0は0.1kg未満を示す。容量(L)の0は1L未満を示す。個数(個数)の0は出現なしを示す。

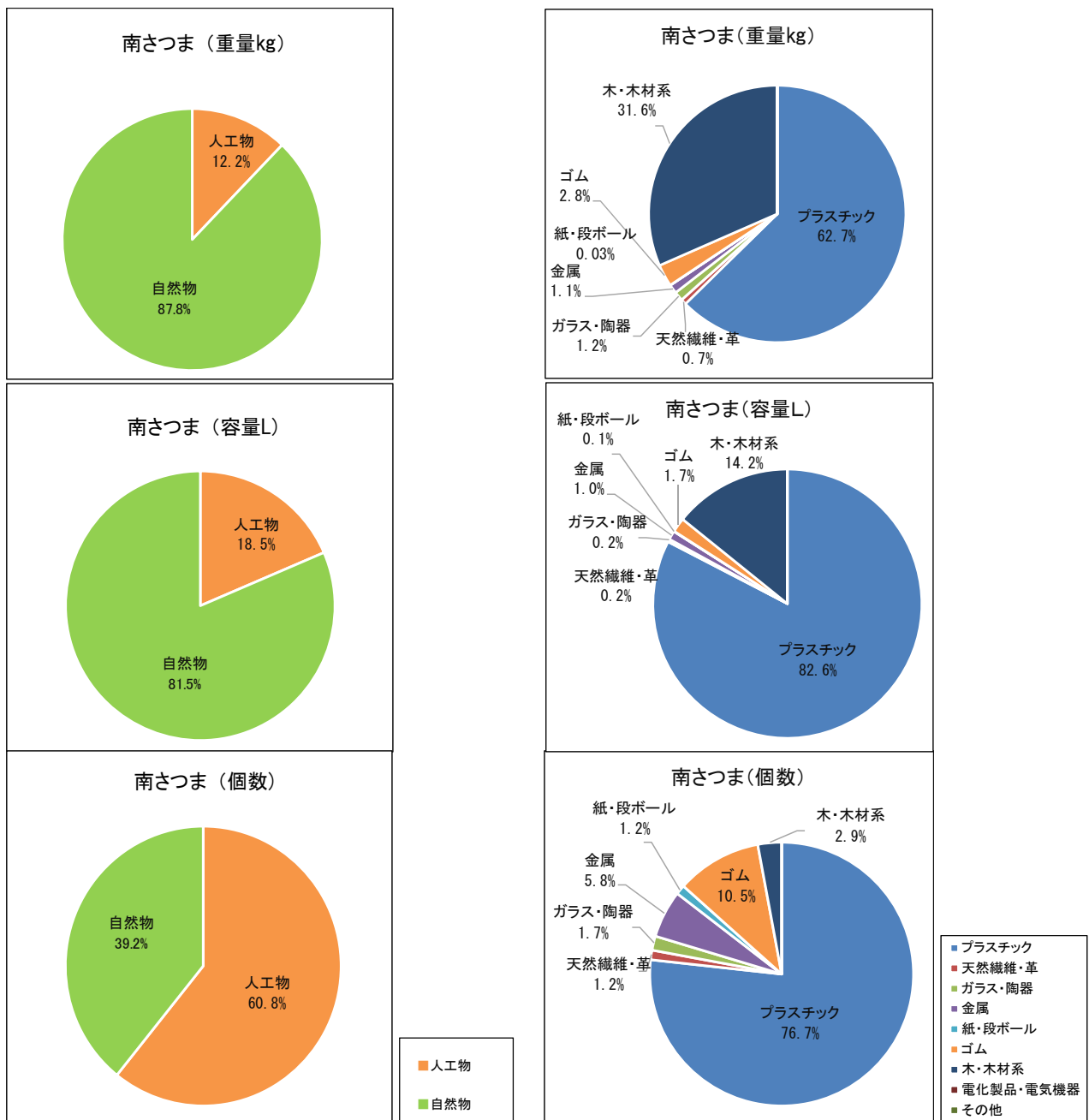


図 2.2-35 2分類別の組成（左図）と人工物の大分類別の組成（右図）

表 2.2-28 プラスチックの容器包装等の組成

分類	重量(kg)	重量(%)	容量(L)	容量(%)	個数(個)	個数(%)
容器包装	2.6	19.0	49	20.0	80	60.6
製品	6.4	48.0	180	73.5	30	22.7
漁具	4.4	32.9	16	6.5	22	16.7
合計	13.4	100.0	244	100.0	132	100.0

※1 発泡スチロール片等、劣化して微小であったものは、個数の計測はしていない。

	分類	重量(kg)	容量(L)	個数(個)
容器包装	飲料用ボトル	1.61	34	43
容器包装	その他プラボトル類	0.85	11	9
容器包装	容器類(調味料容器、トレイ、カップ等)	0.07	3	8
容器包装	ポリ袋	0.03	1	20
漁具	漁網、ロープ	3.93	12	9
漁具	ブイ	0.29	2	6
漁具	発泡スチロールブイ	0.00	0	0
漁具	その他漁具	0.19	2	7
製品	カトラリー(ストロー、フォーク、スプーン、ナイフ、マドラー)	0.00	0	1
製品	その他プラスチック(ライター、注射器、発泡スチロール片等)	6.44	180	29
	合計	13.4	244	132

注) 重量(kg)の0.00は0.01kg未満を示す。容量(L)の0は1L未満を示す。

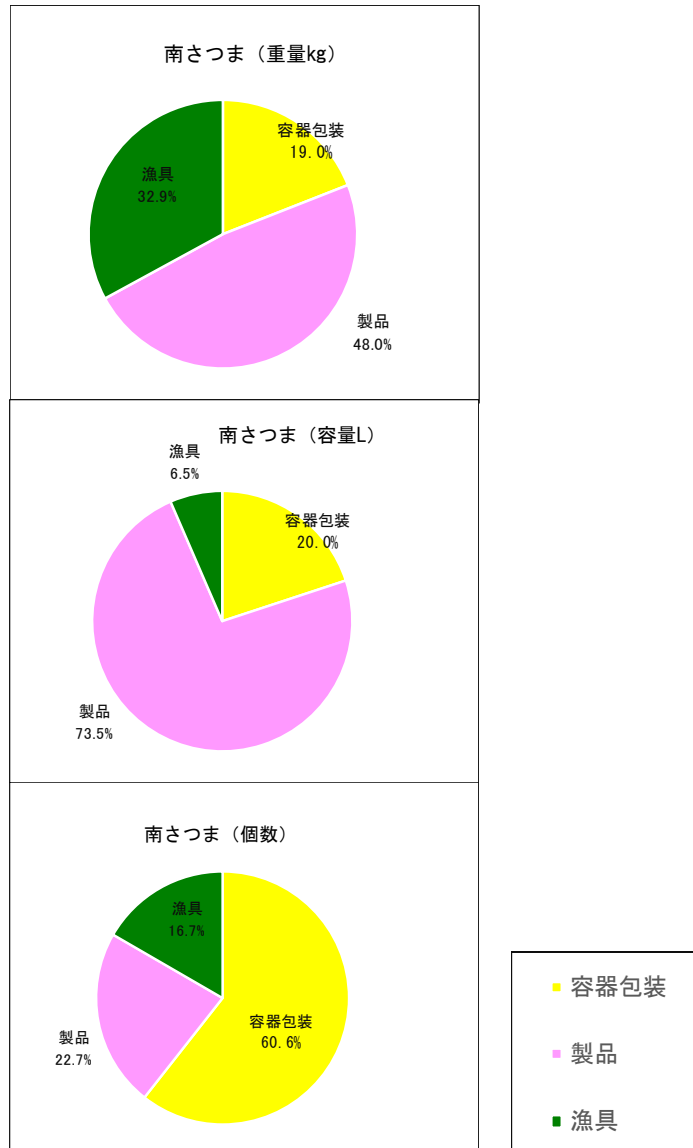


図 2.2-36 プラスチックの容器包装等の組成

表 2.2-29 過年度調査 (H26 年度) 結果

過年度調査 (H26 年度 : 左表) と本年度調査 (右表 : 再掲)

項目	重量(kg)	容量(L)	個数(個)	項目	重量(kg)	容量(L)	個数(個)
人工物	130.3	1,239	922	人工物	21.4	296	172
自然物	450.8	3,620	295	自然物	154.5	1,300	111
合計	581.0	4,859	1,217	合計	175.9	1,596	283

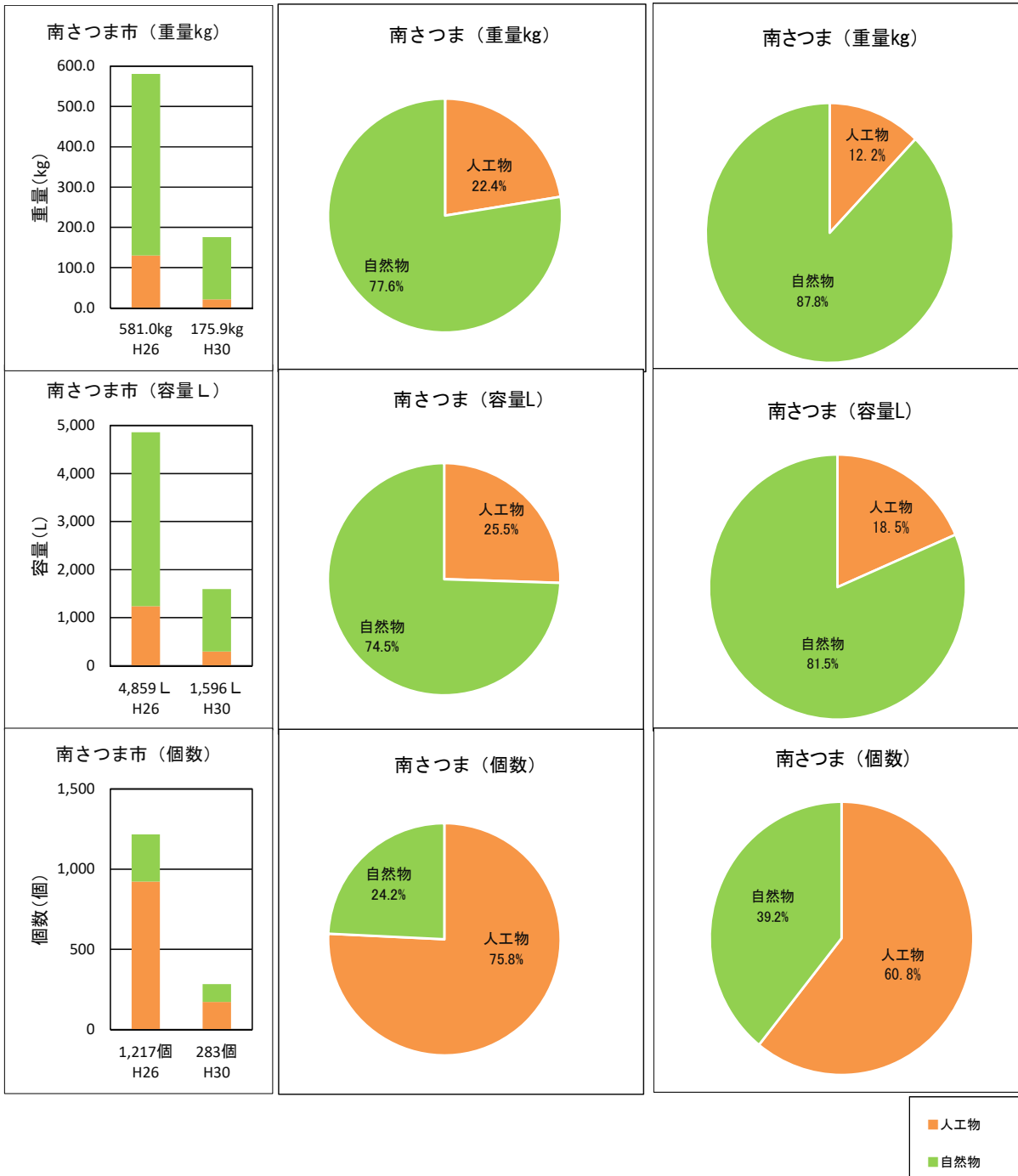


図 2.2-37 過年度調査 (H26 年度) 結果

左図 (棒グラフ) : 過年度調査 (H26 年度 : 左側) と本年度調査 (右側)
 中図と右図 (円グラフ) : 過年度調査 (H26 年度 : 中図) と本年度調査 (右図 : 再掲)

2.3 調査結果の地点間の比較

2.3.1 2分類別の組成

調査結果の地点間の比較として、2分類別の組成を表 2.3-1 に示す。

重量の合計では、深浦が 1,079.9kg と最も多く、ついで、富津の 775.9kg、松江の 658.4kg の順であった。これらの地点では、自然物が多かった。

容量の合計では、富津が 5,127L と最も多く、ついで、深浦の 4,929L、松江の 2,883L の順であった。富津と深浦では自然物が多く、松江では人工物が多かった。

個数の合計では、松江が 10,617 個と最も多く、ついで、深浦の 1,910 個、富津の 988 個の順であった。これらの地点では、人工物が多かった。

2分類別の組成の割合を図 2.3-2 に示す。

重量では、自然物の割合が多い調査地点が多かった。そのうち、70%以上であった地点は、岩内、紋別、深浦、富津、日南、南さつまの 6 地点である。八丈と岬は自然物の割合が少なかった。

容量でも、自然物の割合が多い調査地点が多かった。そのうち、70%以上であった地点は、岩内、紋別、深浦、富津、南さつまの 5 地点である。八丈は漁具、岬は人工物の割合が多かった。重量と容量の割合の組成は比較的類似していた。

個数では、人工物の割合が多い地点が多かった。そのうち、70%以上であった地点は、岩内、紋別、深浦、小名浜、富津、八丈、岬、松江の 8 地点である。

表 2.3-1 調査結果の地点間の比較：2分類別の組成（上表：回収量、下表：割合）

項目	3分類	岩内	紋別	深浦	小名浜	富津	八丈	岬	松江	日南	南さつま
重量 : kg	人工物	47.4	4.7	65.2	32.0	156.3	48.8	28.1	279.3	29.2	21.4
	自然物	202.3	283.6	1,014.7	55.9	619.6	17.2	13.7	379.1	88.2	154.5
	合計	249.7	288.3	1,079.9	87.8	775.9	66.0	41.8	658.4	117.3	175.9
容量 : L	人工物	347	59	432	530	1,022	529	270	1,963	478	296
	自然物	855	1,849	4,497	740	4,105	72	150	920	1,000	1,300
	合計	1,202	1,908	4,929	1,270	5,127	601	420	2,883	1,478	1,596
個数 : 個	人工物	243	126	1,377	543	890	524	446	10,603	295	172
	自然物	25	5	533	19	98	1	9	14	135	111
	合計	268	131	1,910	562	988	525	455	10,617	430	283

項目	3分類	岩内	紋別	深浦	小名浜	富津	八丈	岬	松江	日南	南さつま
重量 : kg	人工物	19.0	1.6	6.0	36.4	20.1	73.9	67.3	42.4	24.9	12.2
	自然物	81.0	98.4	94.0	63.6	79.9	26.1	32.7	57.6	75.1	87.8
	合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
容量 : L	人工物	28.9	3.1	8.8	41.7	19.9	88.0	64.3	68.1	32.4	18.5
	自然物	71.1	96.9	91.2	58.3	80.1	12.0	35.7	31.9	67.6	81.5
	合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
個数 : 個	人工物	90.7	96.2	72.1	96.6	90.1	99.8	98.0	99.9	68.6	60.8
	自然物	9.3	3.8	27.9	3.4	9.9	0.2	2.0	0.1	31.4	39.2
	合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

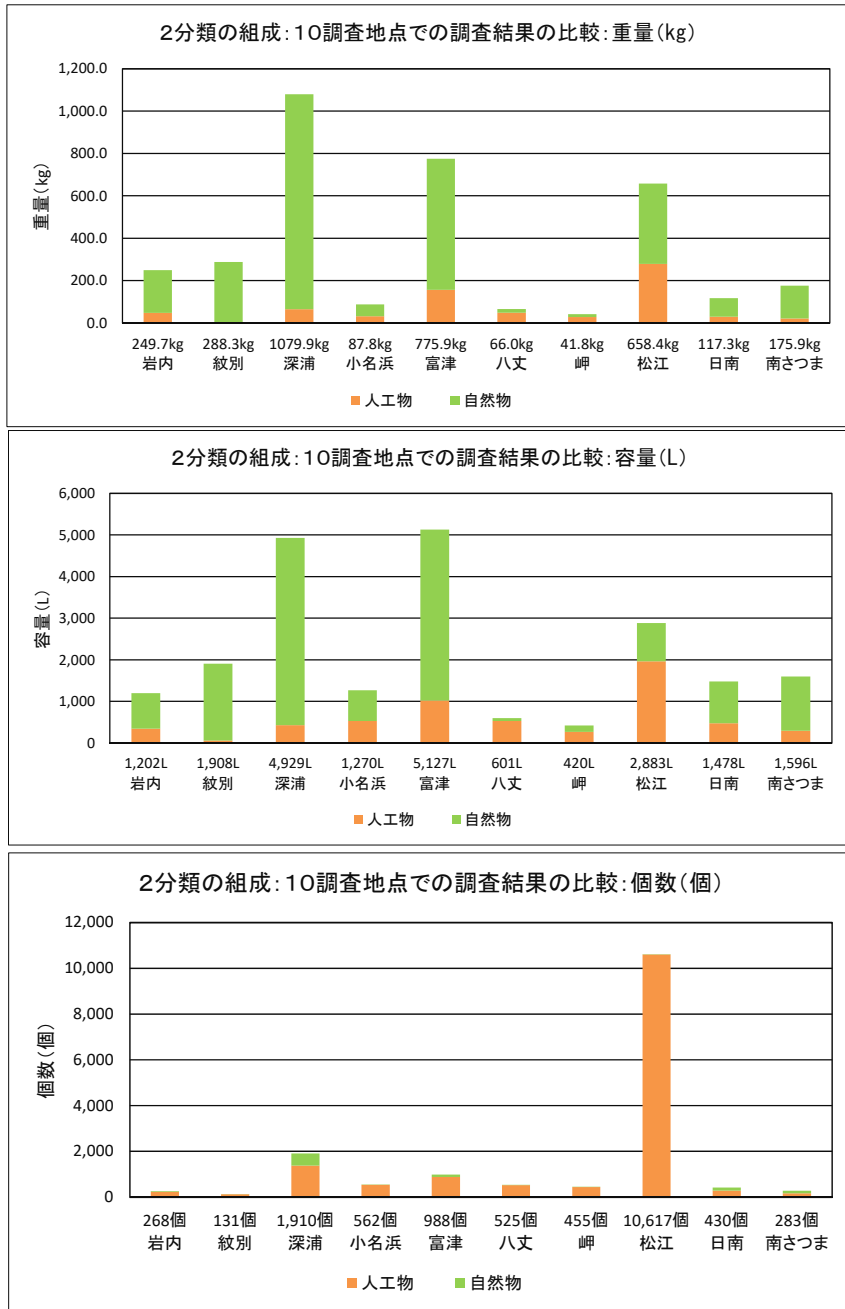


図 2.3-1 調査結果の地点間の比較: 2 分類別の組成

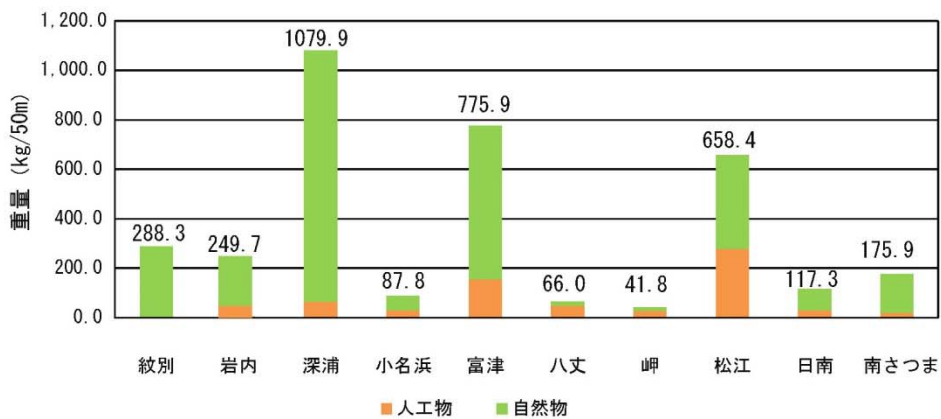
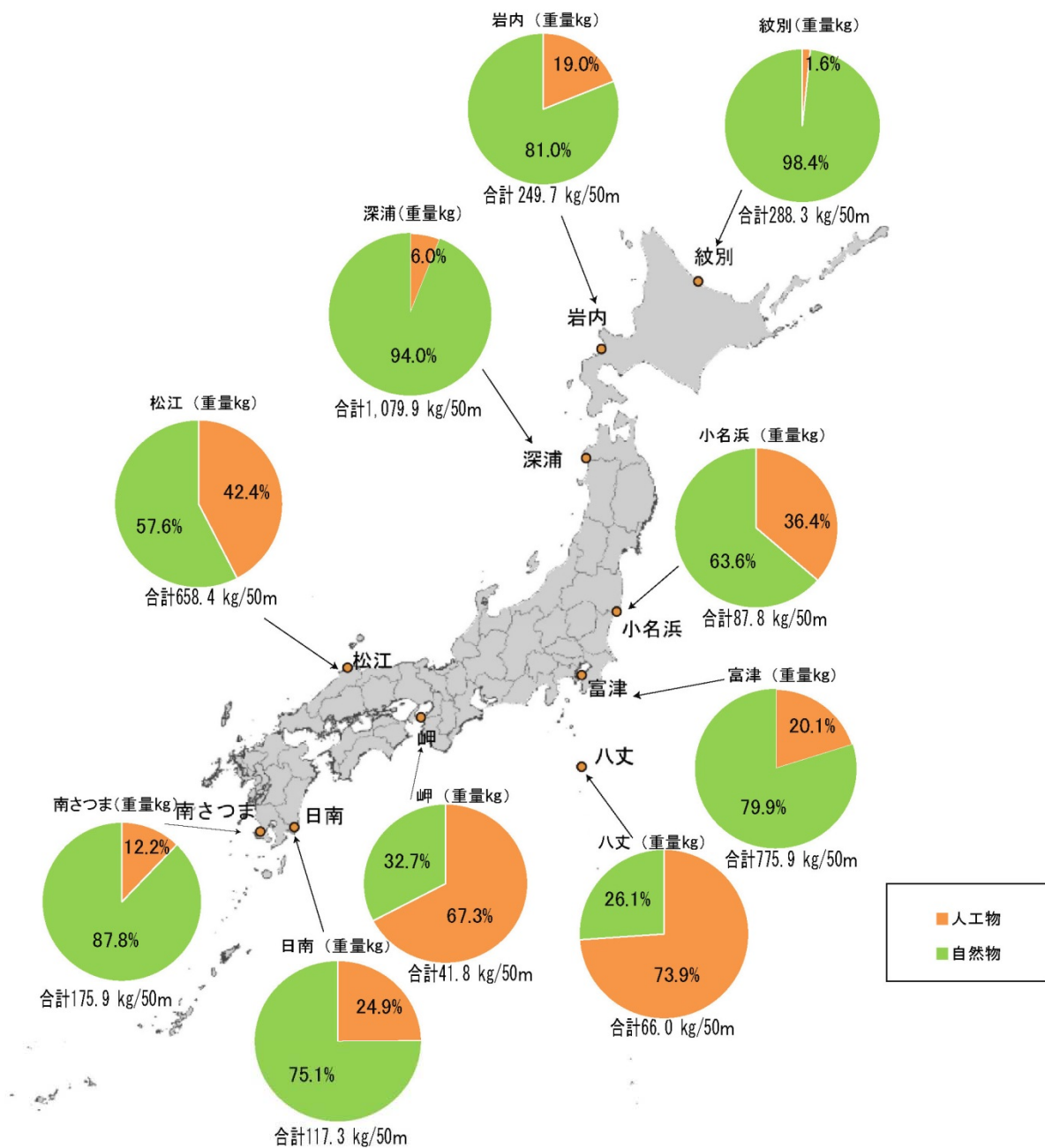


図 2.3-2(1) 調査結果の地点間の比較：2分類別の組成（重量：kg）

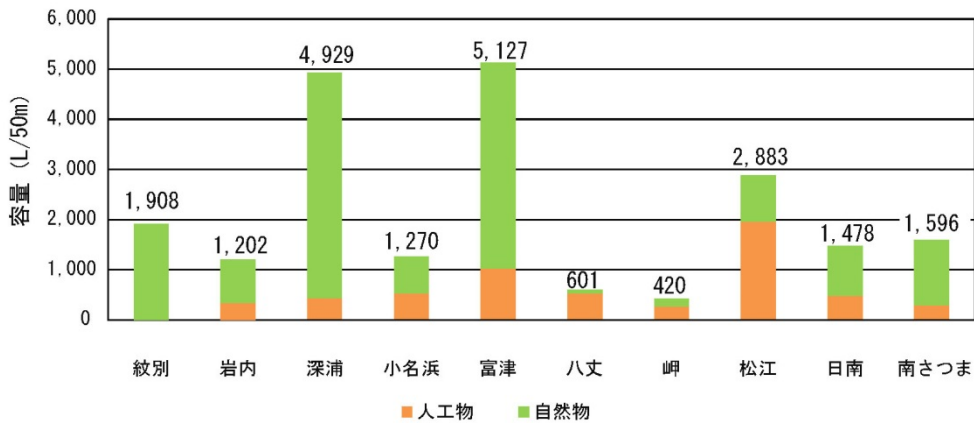
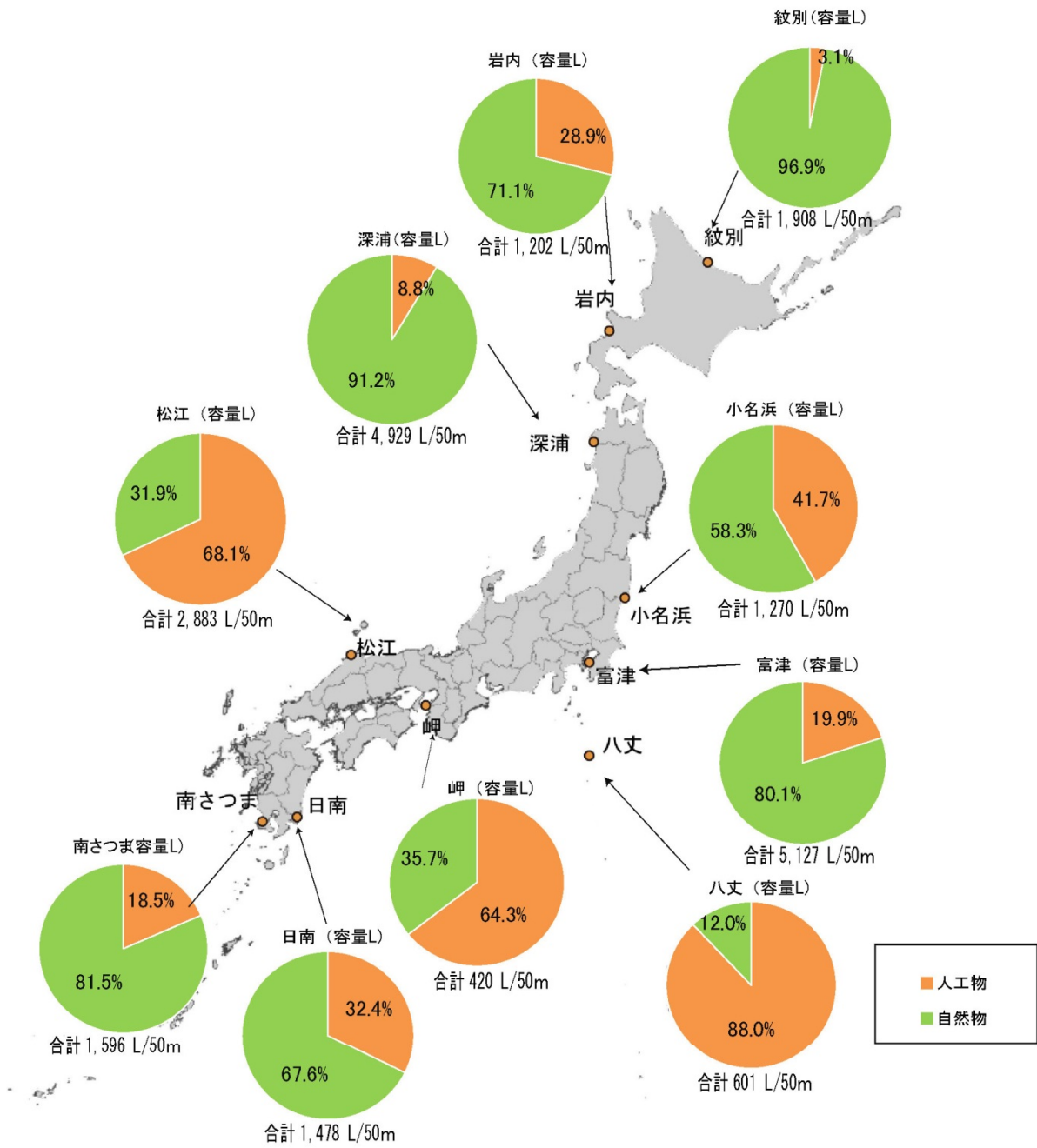


図 2.3-2 (2) 調査結果の地点間の比較：2 分類別の組成（容量：L）

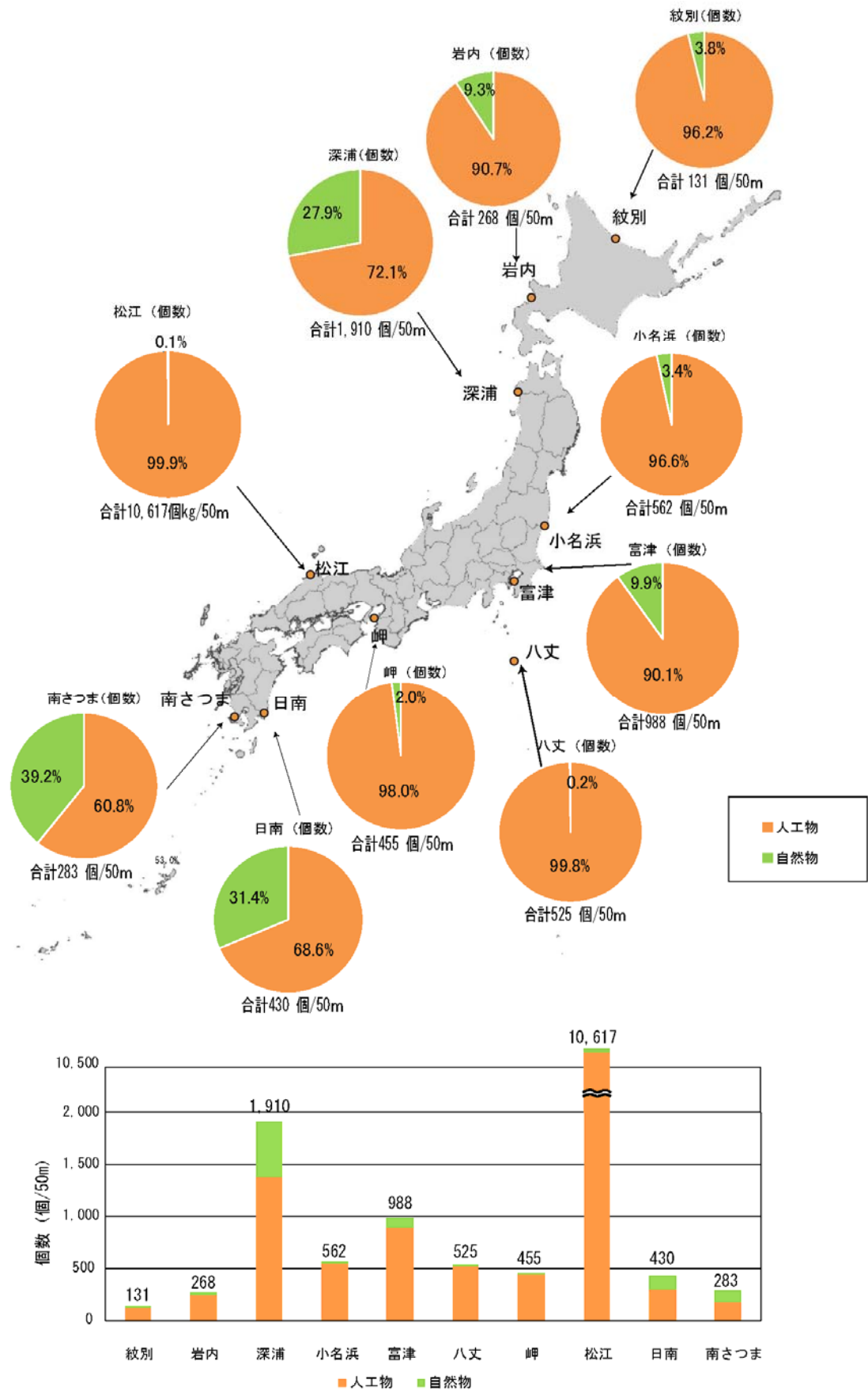


図 2.3-2 (3) 調査結果の地点間の比較：2 分類別の組成（個数：個）

2.3.2 人工物の大分類別の組成

調査結果の地点間の比較として、人工物の大分類別の組成を表 2.3-2、図 2.3-3 に示す。

重量の合計では、松江が 279.3kg と最も多く、ついで、富津の 156.3kg、深浦の 65.2kg の順であった。これらの地点では、プラスチックが多かった。

容量の合計では、松江が 1,963L と最も多く、ついで、富津の 1,022L、小名浜の 530L の順であった。松江と富津ではプラスチックが多く、小名浜では木・木材系が多かった。

個数の合計では、松江が 10,603 個と最も多く、ついで、深浦の 1,377 個、小名浜の 543 個の順であった。これらの地点では、プラスチックが多かった。

人工物の大分類別の組成の割合を図 2.3-4 に示す。

重量では、プラスチックの割合が 50%以上であった地点は、富津、八丈、松江、日南、南さつまの 5 地点である。木・木材系の割合が 50%以上であった地点は、小名浜、岬の 2 地点である。岩内ではゴム、紋別ではゴム、ガラス・陶器の割合が多かった。

容量でも、プラスチックの割合が 50%以上であった地点は、岩内、紋別、深浦、富津、八丈、松江、日南、南さつまの 8 地点である。木・木材系の割合が 50%以上であった地点は、小名浜、岬の 2 地点である。重量と容量の割合の組成は比較的類似していた。

個数では、いずれの調査地点でも、プラスチックの占める割合が多かった。

表 2.3-2 調査結果の地点間の比較：人工物の大分類別の組成（上表：回収量、下表：割合）

項目	3分類	岩内	紋別	深浦	小名浜	富津	八丈	岬	松江	日南	南さつま
重量 : kg	プラスチック	9.6	1.2	28.9	11.6	126.8	46.3	7.8	205.0	16.4	13.4
	天然繊維・革	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.6	0.0	0.1
	ガラス・陶器	1.2	1.0	7.4	0.5	4.3	0.6	0.3	9.4	0.0	0.3
	金属	6.1	0.3	0.7	0.4	2.2	0.3	0.4	1.1	0.2	0.2
	紙・段ボール	0.3	0.0	0.0	0.1	0.3	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0
	ゴム	28.2	0.9	2.5	0.7	7.0	1.5	0.2	5.6	1.0	0.6
	木・木材系	1.7	1.2	25.8	18.5	15.6	0.0	19.2	57.8	11.5	6.8
	電化製品・電気機器	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	人工物合計	47.4	4.7	65.2	32.0	156.3	48.8	28.1	279.3	29.2	21.4
容量 : L	プラスチック	228	34	217	178	684	513	113	1,797	416	244
	天然繊維・革	0	1	0	0	0	0	1	10	0	1
	ガラス・陶器	2	3	15	2	8	1	0	28	0	0
	金属	66	6	3	10	6	3	4	13	3	3
	紙・段ボール	6	0	0	0	3	2	1	0	0	0
	ゴム	42	6	17	10	72	10	1	41	9	5
	木・木材系	3	10	180	330	250	0	150	75	50	42
	電化製品・電気機器	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	人工物合計	347	59	432	530	1,022	529	270	1,963	478	296
個数 : 個	プラスチック	197	83	1,143	497	727	476	378	10,252	269	132
	天然繊維・革	0	5	0	2	0	0	8	15	0	2
	ガラス・陶器	3	5	87	4	33	16	4	84	0	3
	金属	28	16	27	10	55	10	19	29	9	10
	紙・段ボール	7	0	0	4	3	5	11	3	0	2
	ゴム	3	2	26	10	29	17	7	63	13	18
	木・木材系	4	15	94	16	43	0	19	157	4	5
	電化製品・電気機器	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	人工物合計	243	126	1,377	543	890	524	446	10,603	295	172
項目	3分類	岩内	紋別	深浦	小名浜	富津	八丈	岬	松江	日南	南さつま
重量 : kg	プラスチック	20	25	44	36	81	95	28	73	56	63
	天然繊維・革	0	3	0	0	0	0	1	0	0	1
	ガラス・陶器	3	21	11	2	3	1	1	3	0	1
	金属	13	6	1	1	1	1	1	0	1	1
	紙・段ボール	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ゴム	59	19	4	2	5	3	1	2	4	3
	木・木材系	4	26	40	58	10	0	68	21	40	32
	電化製品・電気機器	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	人工物合計	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
容量 : L	プラスチック	66	57	50	34	67	97	42	92	87	83
	天然繊維・革	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	ガラス・陶器	0	4	4	0	1	0	0	1	0	0
	金属	19	10	1	2	1	1	1	1	1	1
	紙・段ボール	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ゴム	12	10	4	2	7	2	0	2	2	2
	木・木材系	1	17	42	62	24	0	55	4	10	14
	電化製品・電気機器	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	人工物合計	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
個数 : 個	プラスチック	81	66	83	92	82	91	85	97	91	77
	天然繊維・革	0	4	0	0	0	0	2	0	0	1
	ガラス・陶器	1	4	6	1	4	3	1	1	0	2
	金属	12	13	2	2	6	2	4	0	3	6
	紙・段ボール	3	0	0	1	0	1	2	0	0	1
	ゴム	1	2	2	2	3	3	2	1	4	10
	木・木材系	2	12	7	3	5	0	4	1	1	3
	電化製品・電気機器	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	人工物合計	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100

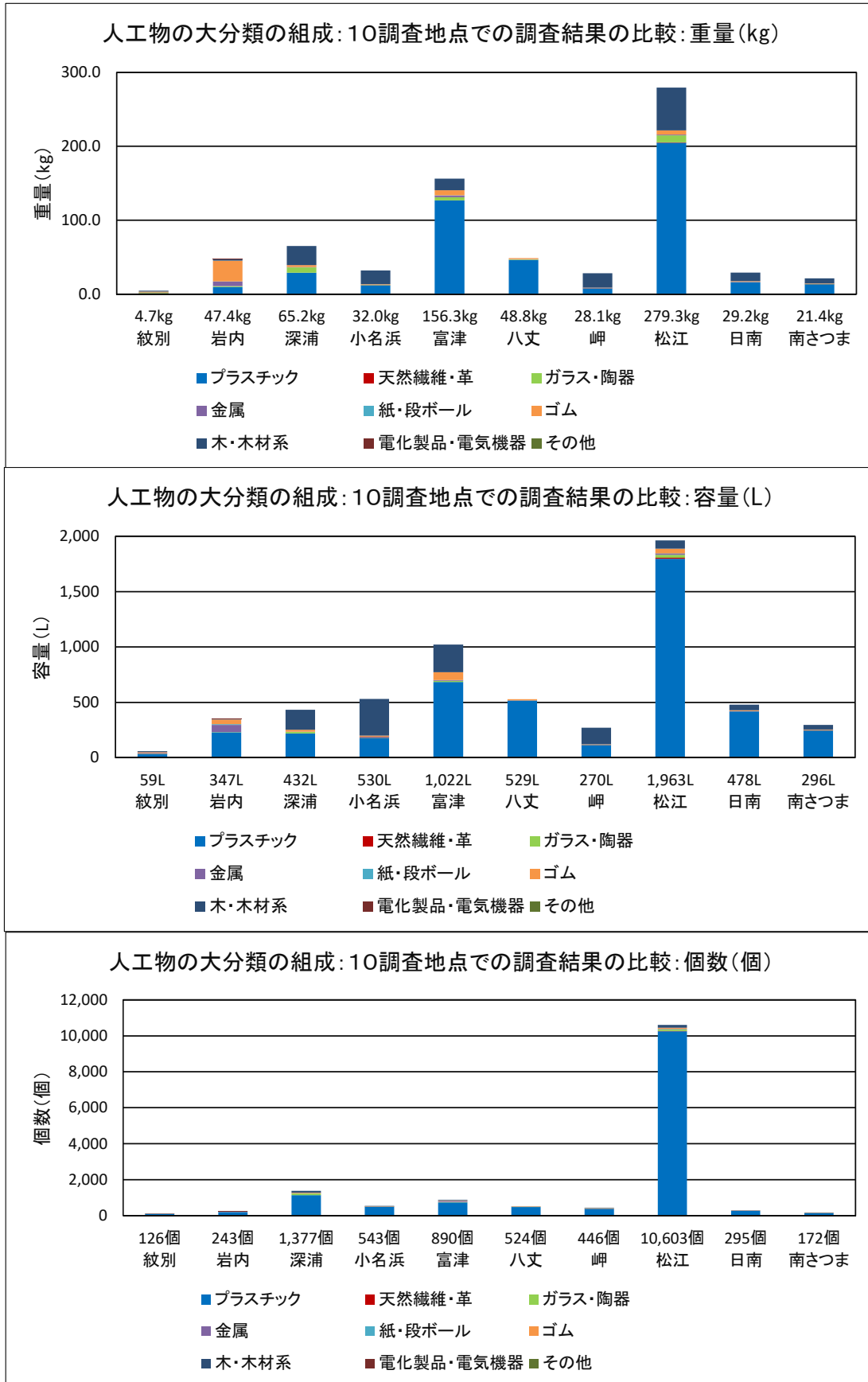


図 2.3-3 調査結果の地点間の比較: 人工物の大分類別の組成

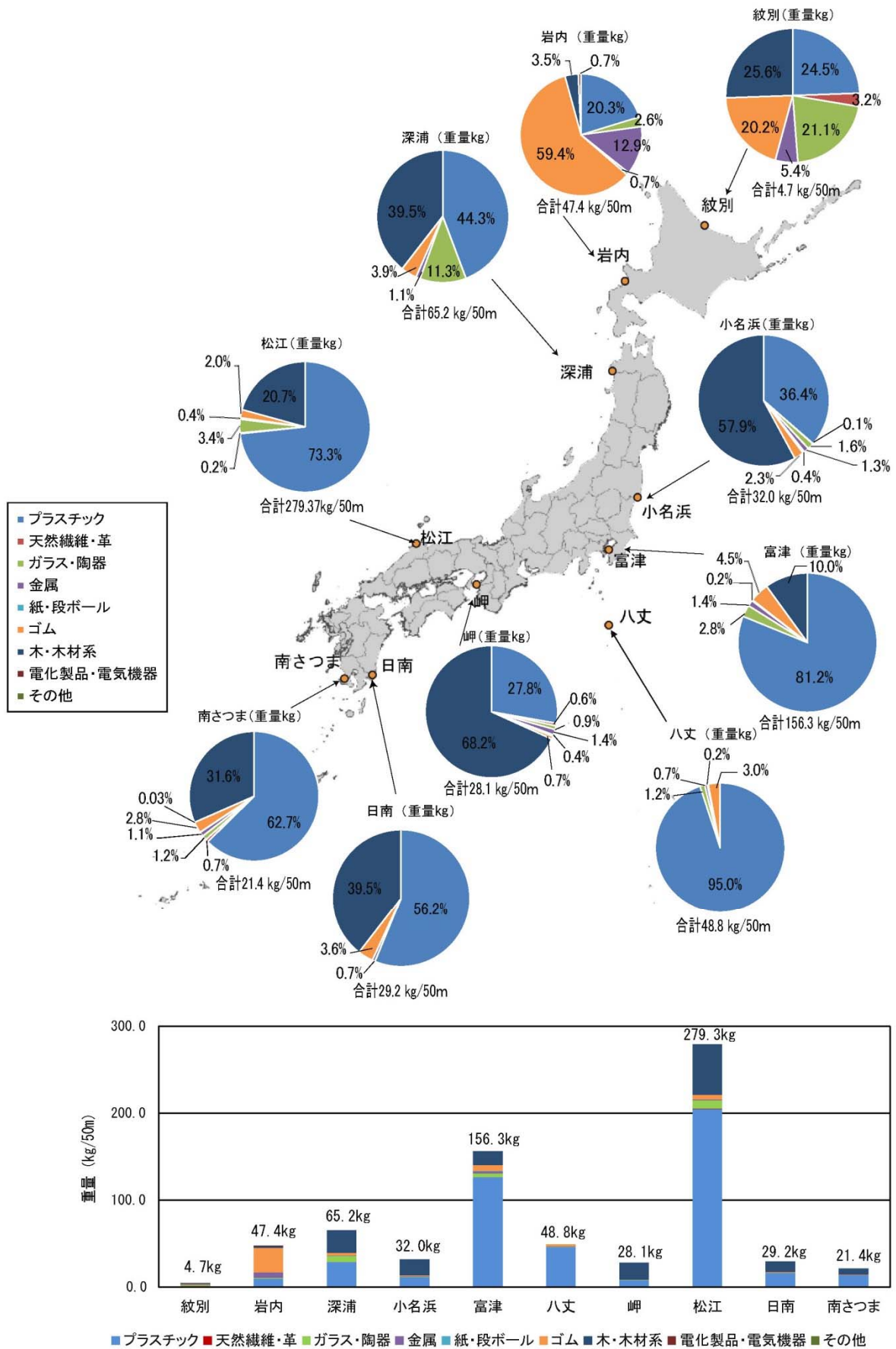


図 2.3-4(1) 調査結果の地点間の比較：人工物の大分類別の組成（重量：kg）

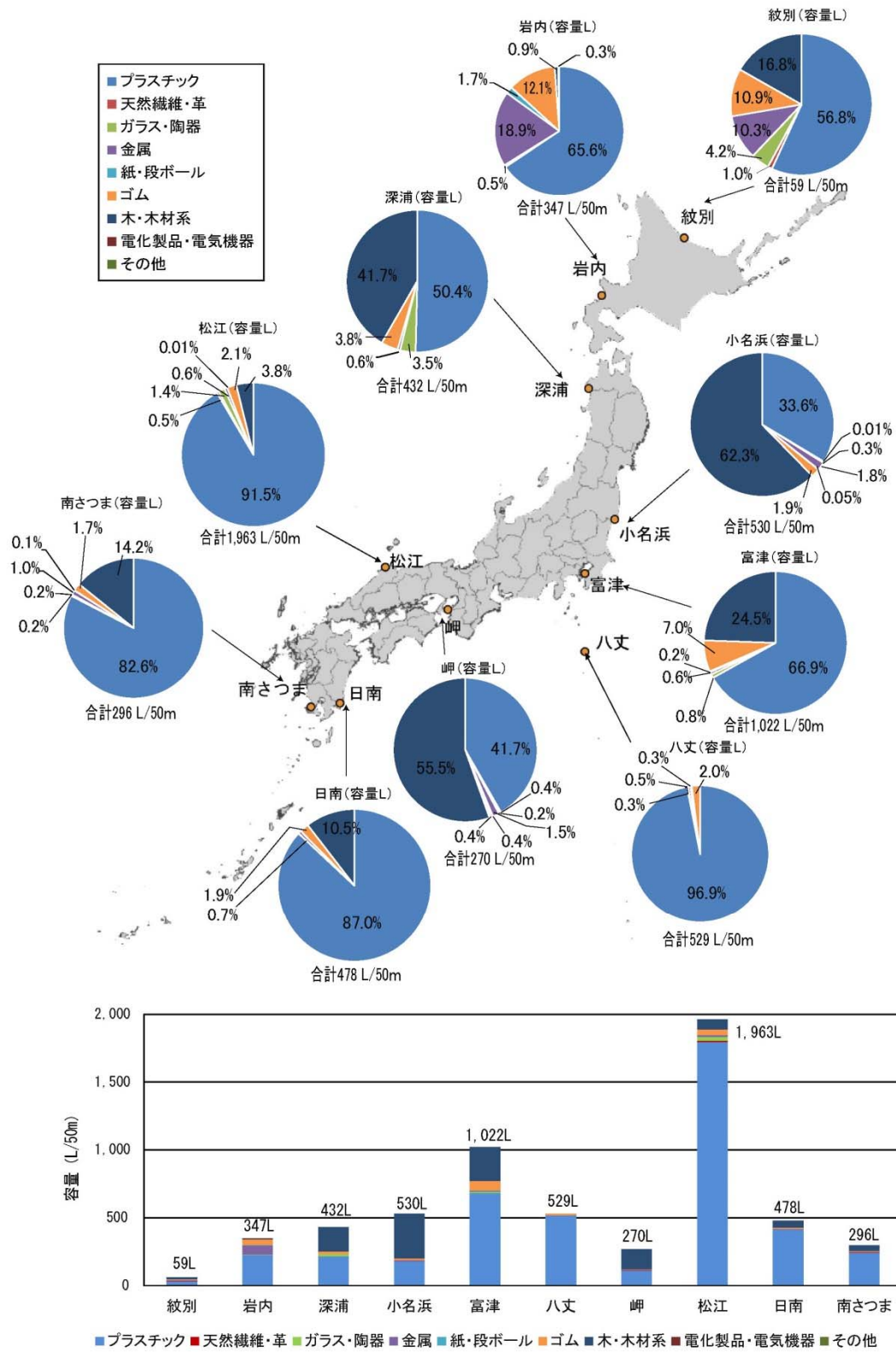


図 2.3-4(2) 調査結果の地点間の比較：人工物の大分類別の組成（容量：L）

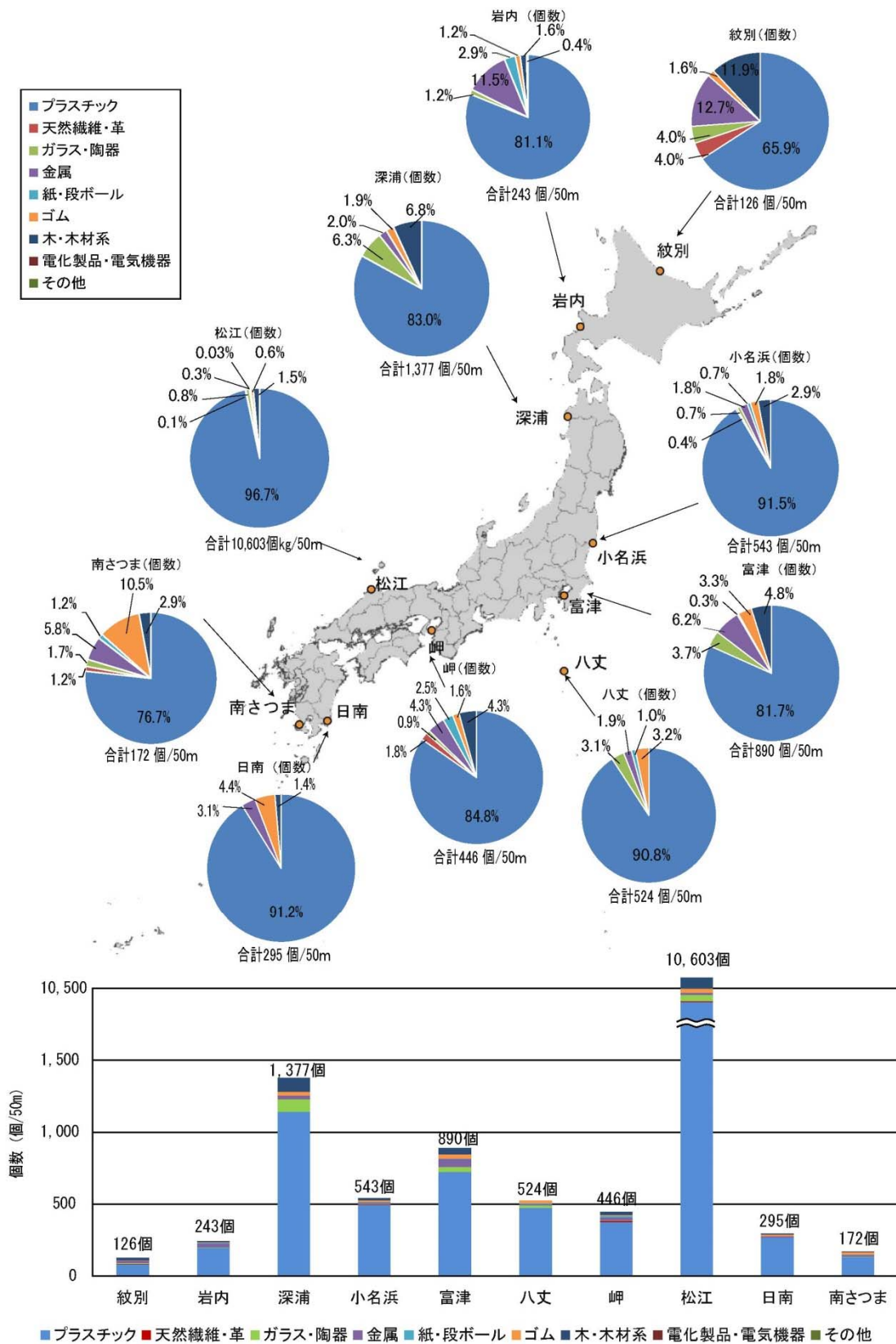


図 2.3-4(3) 調査結果の地点間の比較：人工物の大分類別の組成（個数：個）

2.3.3 プラスチックの容器包装等の組成

調査結果の地点間の比較として、プラスチックの容器包装等の組成を表 2.3-3、図 2.3-5 に示す。

重量の合計では、松江が 205.0kg と最も多く、ついで、富津の 126.8kg、八丈の 46.3kg の順であった。これらの地点では、漁具が多かった。

容量の合計では、松江が 1,797.0L と最も多く、ついで、富津の 684.2L、八丈の 512.7L の順であった。これらの地点では、漁具が多かった。

個数の合計では、松江が 10,222 個と最も多く、ついで、深浦の 1,143 個、富津の 727 個の順であった。松江で多かったのは漁具で、深浦と富津で多かったのは容器包装であった。

プラスチックの容器包装等の組成の割合を図 2.3-6 に示す。

重量では、容器包装の割合が多かった地点は、岩内、紋別の 2 地点であり、製品の割合が多かった地点は、深浦、小名浜、岬、南さつまの 4 地点であった。漁具の割合が多かった地点は、富津、八丈、松江、日南の 4 地点であった。

容量では、容器包装の割合が多かった地点は、岩内、紋別、小名浜の 3 地点であり、製品の割合が多かった地点は、深浦、南さつまの 2 地点であった。漁具の割合が多かった地点は、富津、八丈、日南の 3 地点であった。重量と容量の割合の組成は比較的類似していた。

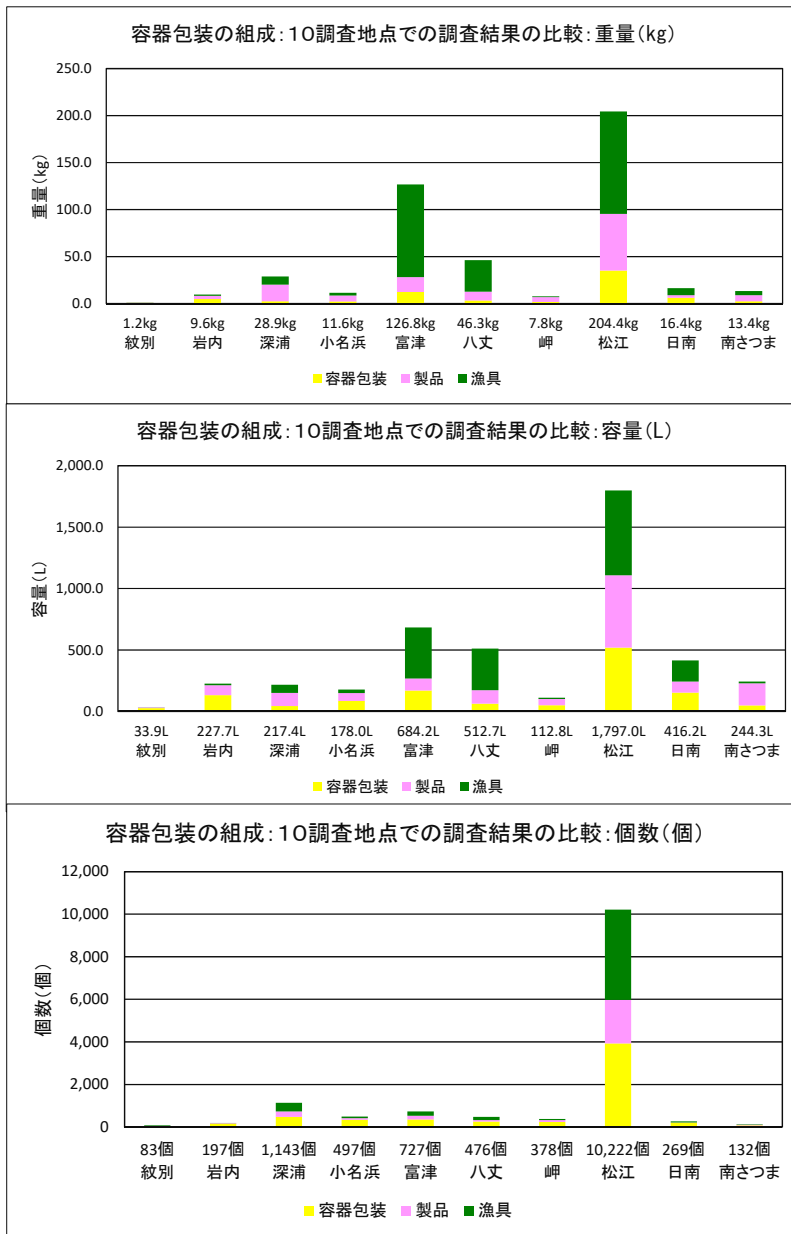
個数では、容器包装の割合が多かった地点は、岩内、紋別、深浦、小名浜、富津、八丈、岬、日南、南さつまの 9 地点であり、漁具の割合が多かった地点は、松江の 1 地点であった。

表 2.3-3 調査結果の地点間の比較：プラスチックの容器包装等の組成

(上表：回収量、下表：割合)

項目	3分類	岩内	紋別	深浦	小名浜	富津	八丈	岬	松江	日南	南さつま
重量 : kg	容器包装	4.9	0.8	2.6	2.3	12.6	3.4	2.0	35.2	6.3	2.6
	製品	3.4	0.3	17.7	6.5	15.5	9.3	5.1	60.2	2.7	6.4
	漁具	1.3	0.1	8.6	2.9	98.7	33.6	0.8	109.6	7.4	4.4
	合計	9.6	1.2	28.9	11.6	126.8	46.3	7.8	205.0	16.4	13.4
容量 : L	容器包装	132	27	45	86	172	65	51	519	155	49
	製品	82	6	107	64	95	108	51	588	88	180
	漁具	14	1	66	28	417	340	11	690	173	16
	合計	228	34	217	178	684	513	113	1,797	416	244
個数 : 個	容器包装	159	36	471	350	356	262	234	3,928	202	80
	製品	24	23	255	75	169	57	93	2,044	18	30
	漁具	14	24	417	72	202	157	51	4,250	49	22
	合計	197	83	1,143	497	727	476	378	10,222	269	132

項目	3分類	岩内	紋別	深浦	小名浜	富津	八丈	岬	松江	日南	南さつま
重量 : kg	容器包装	51	69	9	20	10	7	25	17	38	19
	製品	35	26	61	56	12	20	65	29	17	48
	漁具	13	5	30	25	78	73	10	53	45	33
	合計	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
容量 : L	容器包装	58	81	20	48	25	13	45	29	37	20
	製品	36	17	49	36	14	21	45	33	21	74
	漁具	6	3	30	16	61	66	10	38	41	7
	合計	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
個数 : 個	容器包装	81	43	41	70	49	55	62	38	75	61
	製品	12	28	22	15	23	12	25	20	7	23
	漁具	7	29	36	14	28	33	13	42	18	17
	合計	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100



注) 松江の個数が著しく多いので、グラフの最大目盛を 2,000 個にした図を下に示す。

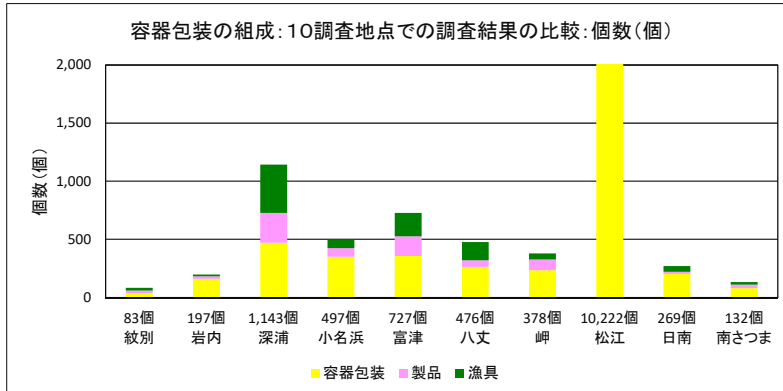


図 2.3-5 調査結果の地点間の比較: プラスチックの容器包装等の組成

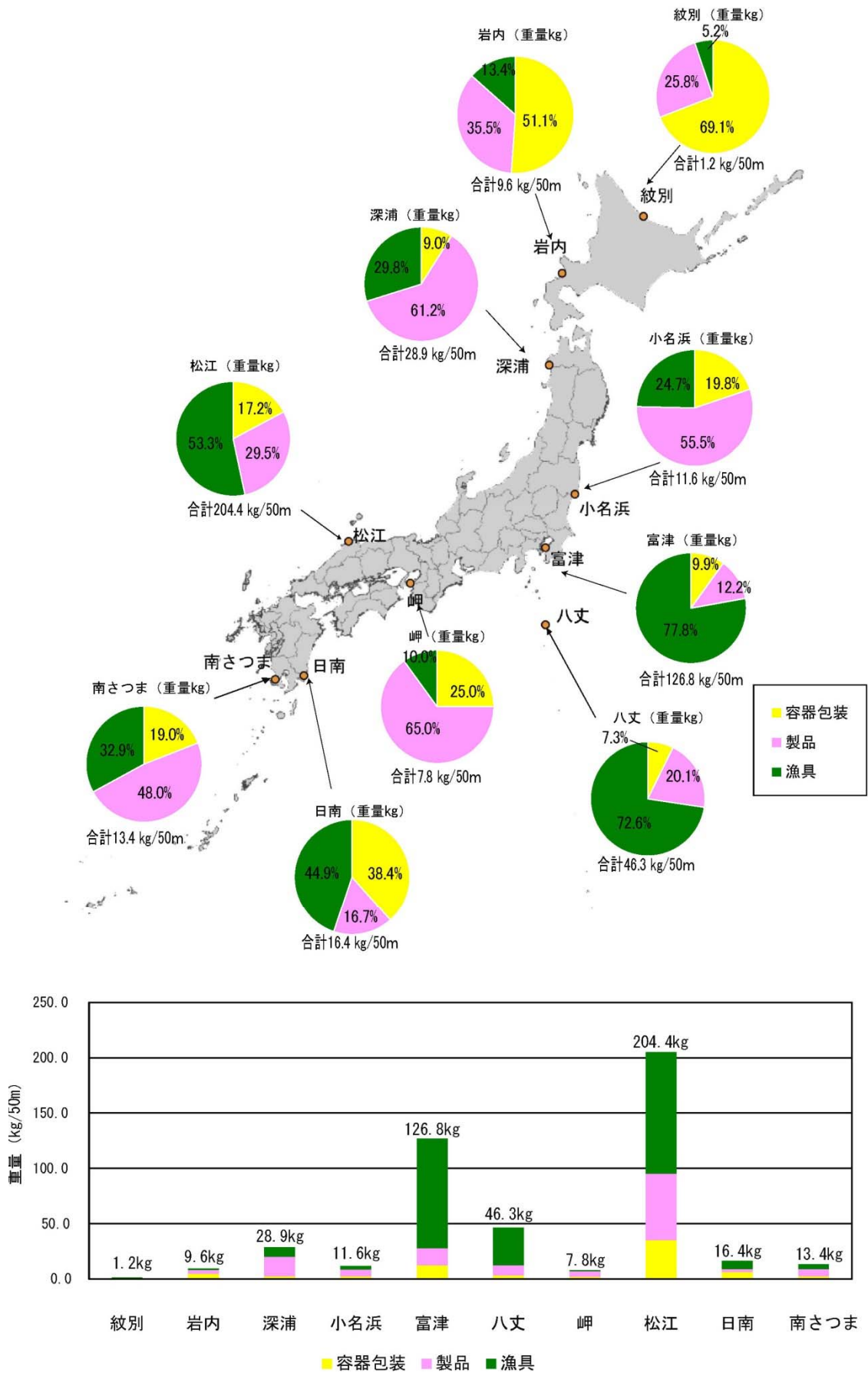


図 2.3-6(1) 調査結果の地点間の比較：プラスチックの容器包装等の組成（重量：kg）

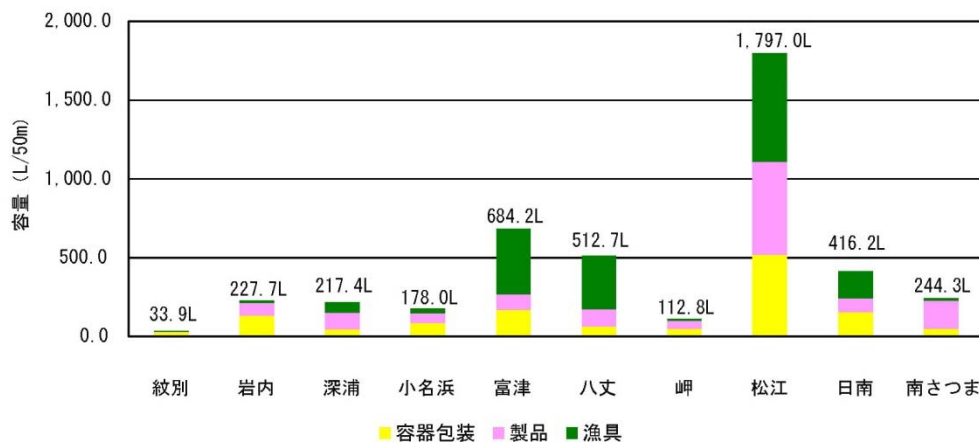
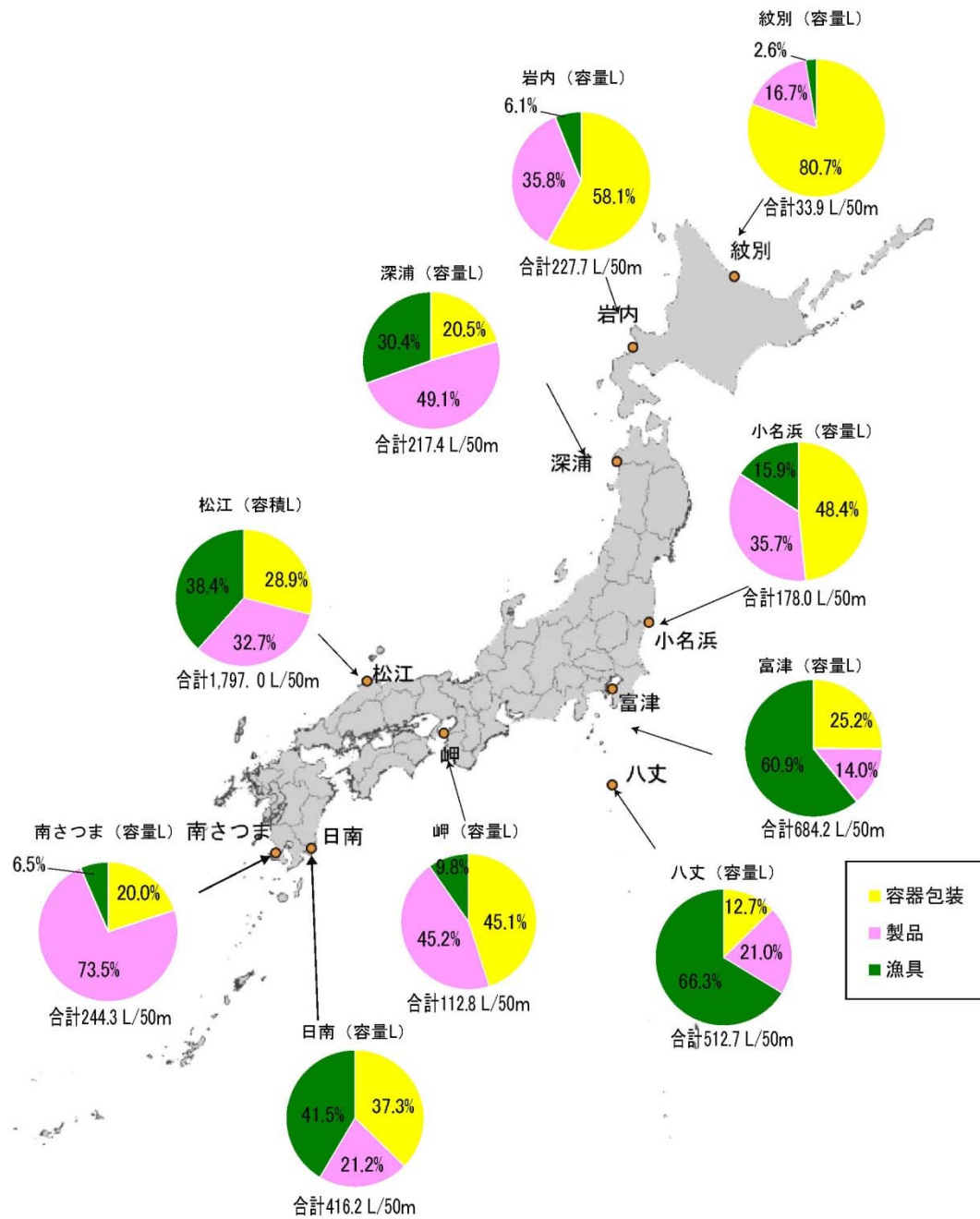


図 2.3-6(2) 調査結果の地点間の比較：プラスチックの容器包装等の組成（容量：L）

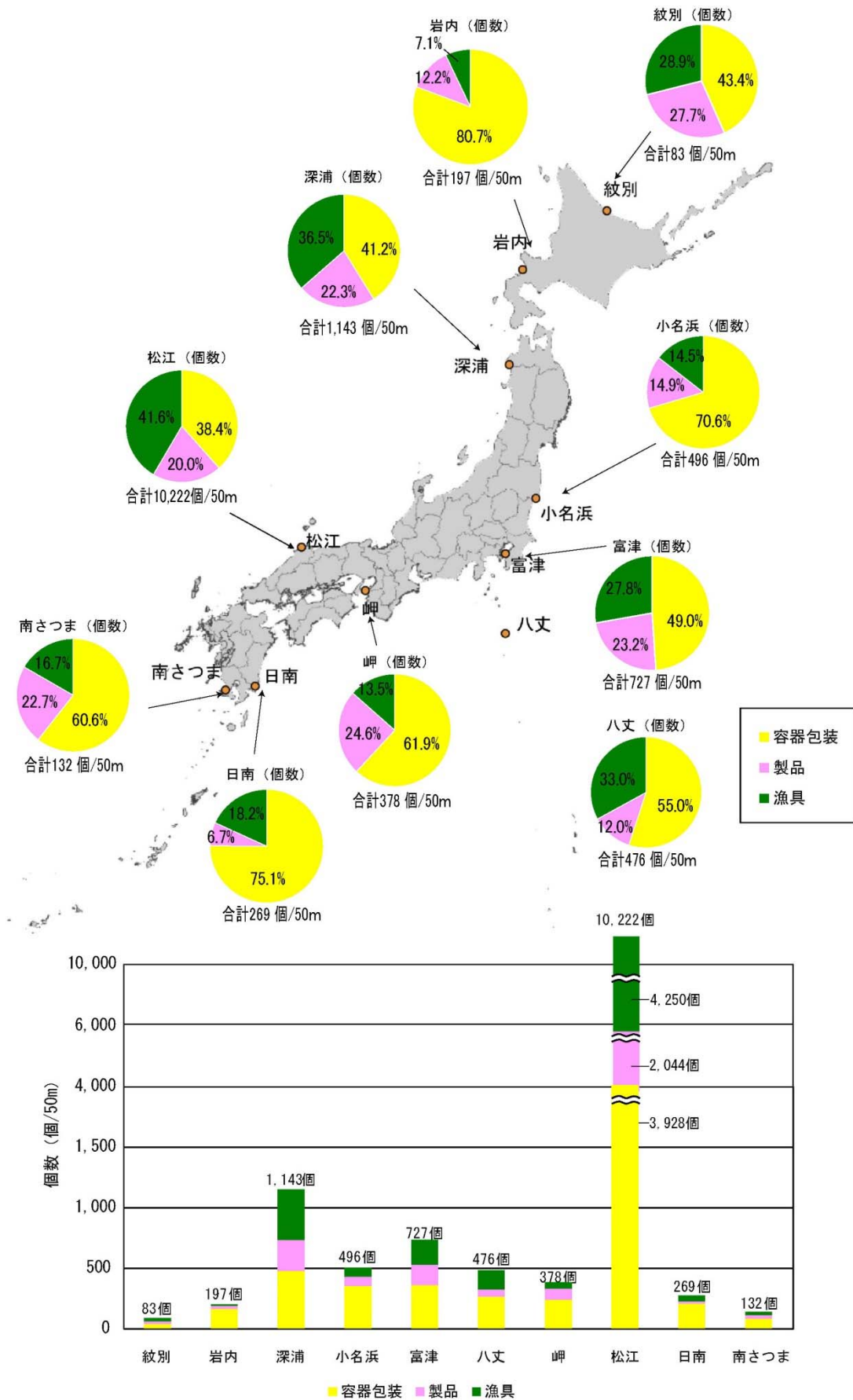


図 2.3-6(3) 調査結果の地点間の比較：プラスチックの容器包装等の組成（個数：個）

3. ペットボトル・キャップ・ふた等の言語表記別分類等

3.1 ペットボトル

ペットボトルの言語表記別個数は表 3.1-1 に、言語表記別割合（10 調査地点の合計）は図 3.1-1 に、言語表記別割合（調査地点別）は図 3.1-2、図 3.1-3 に示す。

ペットボトルの言語表記別個数は、10 調査地点の合計で 691 個であり、日南、岩内、松江などでの個数が多かった。

言語表記別の割合は、日本が 46% と最も多く、次いで、中国の 16%、韓国の 5% であった。

調査地点別に見ると、日本の割合が多い地点は、岬、南さつま、小名浜、紋別、岩内などであり、中国の割合が多い地点は、八丈、日南、深浦などであり、韓国は松江で多かった。

表 3.1-1 ペットボトルの言語表記別個数

調査地点	日本	中国	韓国	ロシア	その他	不明	合計
紋別	12	0	0	2	0	4	18
岩内	66	6	2	1	0	40	115
深浦	15	7	4	0	0	14	40
小名浜	34	4	0	0	0	10	48
富津	27	1	0	0	0	47	75
八丈	23	34	0	0	2	29	88
岬	29	1	0	0	0	1	31
松江	15	15	29	0	0	51	110
日南	70	37	0	0	8	16	131
南さつま	29	3	0	0	0	3	35
合計	320	108	35	3	10	215	691

注）その他の内訳は、富津でベトナム、フィリピン各1個、日南でマレーシア2個、ベトナム1個等である。

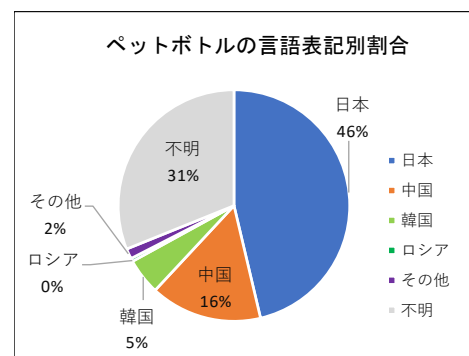


図 3.1-1 ペットボトルの言語表記別割合
(10 調査地点の合計)

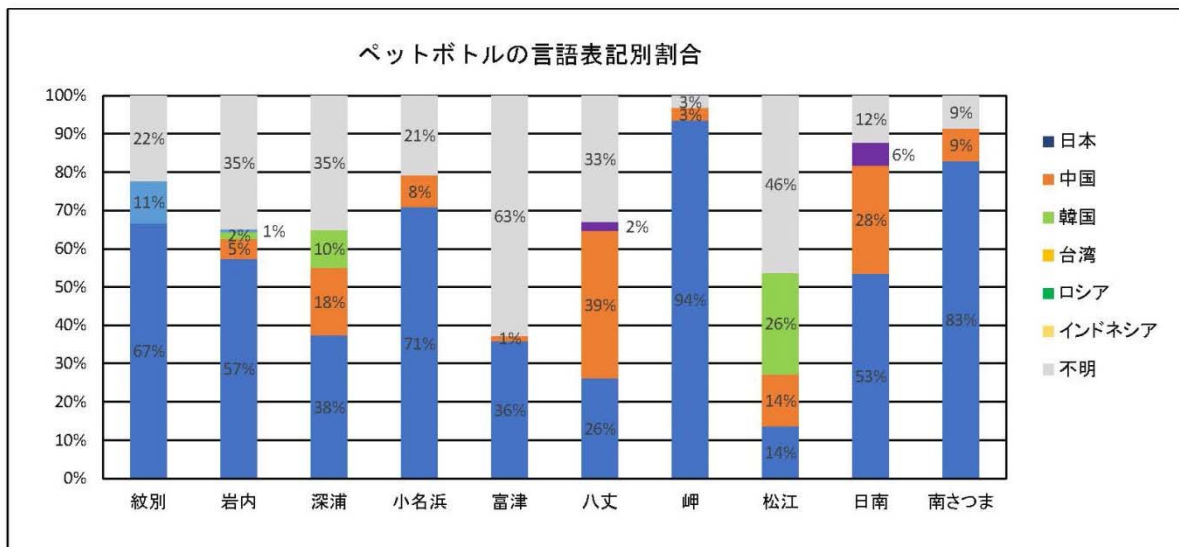


図 3.1-2 ペットボトルの言語表記別割合（調査地点別）

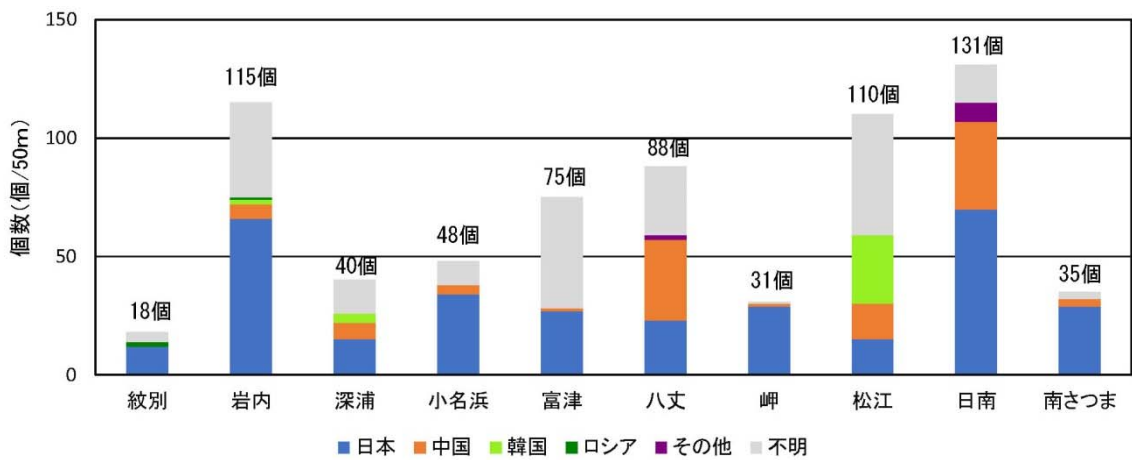
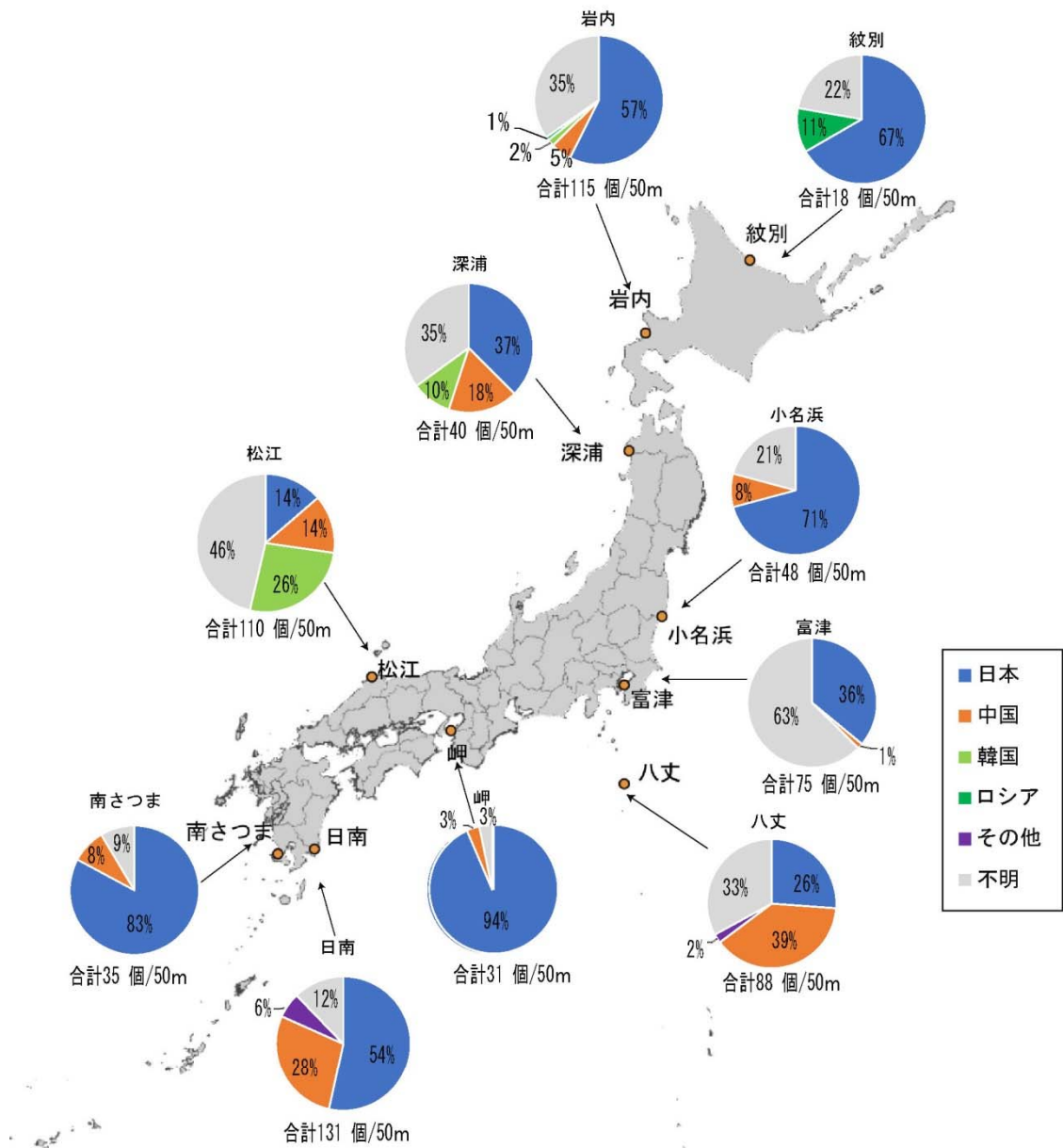


図 3.1-3 ペットボトルの言語表記別割合（調査地点別）

3.2 キャップ・ふた

キャップ・ふたの言語表記別個数は表 3.2-1 に、言語表記別割合（10 調査地点の合計）は図 3.2-1 に、言語表記別割合（調査地点別）は図 3.2-2、図 3.2-3 に示す。

キャップ・ふたの言語表記別個数は、10 調査地点の合計で 1,715 個であり、松江が 1,434 個で突出していた。次いで多かったのは深浦の 109 個であった。

言語表記別の割合は、韓国が 19%と最も多く、次いで、日本の 14%、中国の 10%であった。個数が突出していた松江の結果の影響が大きかった。

調査地点別に見ると、回収個数が少なかった紋別、日南、南さつまを除くと、韓国の割合が多い地点は、松江、深浦、八丈、小名浜などであり、日本の割合が多い地点は、岬、小名浜、岩内などであり、韓国は松江、深浦で比較的多く見られた。

ペットボトルの結果と比べると、キャップ・ふたの日本の割合が多かった地点の岬、小名浜、岩内や、韓国が多く見られた松江、深浦では、ペットボトルでも同様な傾向が見られていた。

表 3.2-1 キャップ・ふたの言語表記別個数

調査地点	日本	中国	韓国	ロシア	インドネシア	その他	不明	合計
紋別	1	0	0	0	0	0	1	2
岩内	9	0	1	0	0	0	6	16
深浦	21	13	13	3	2	1	56	109
小名浜	14	2	0	0	0	0	5	21
富津	30	0	0	0	0	0	34	64
八丈	8	4	0	0	0	0	22	34
岬	22	0	0	0	0	0	9	31
松江	134	150	307	0	0	0	843	1,434
日南	1	0	0	0	0	0	0	1
南さつま	2	0	0	0	0	0	1	3
合計	242	169	321	3	2	1	977	1,715

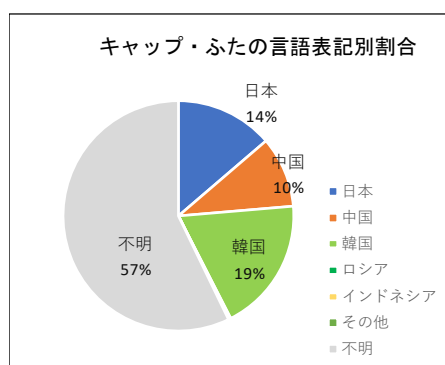


図 3.2-1 キャップ・ふたの言語表記別割合
(10 調査地点の合計)

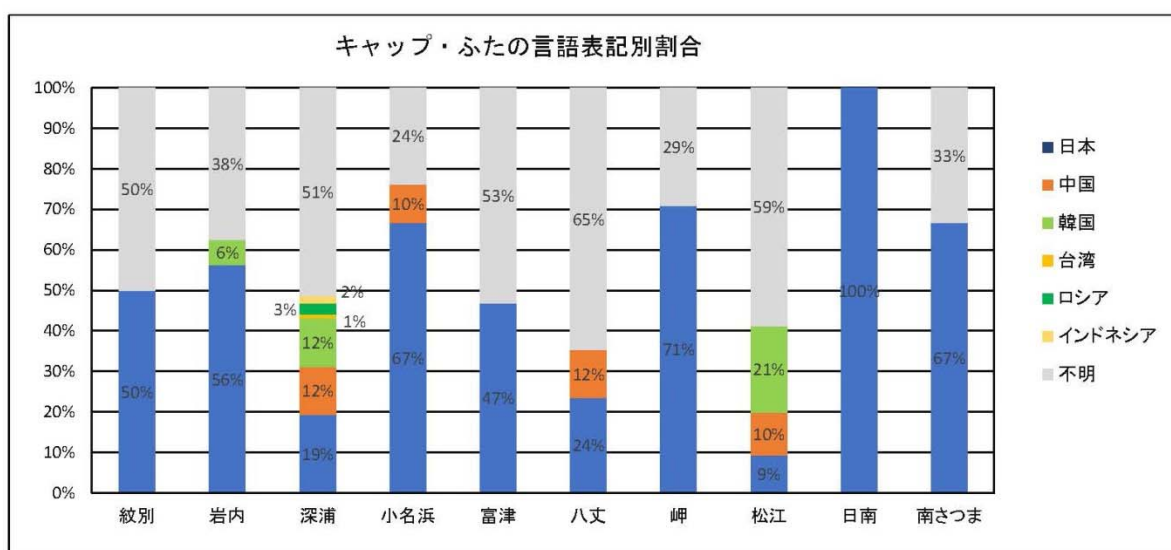


図 3.2-2 キャップ・ふたの言語表記別割合（調査地点別）

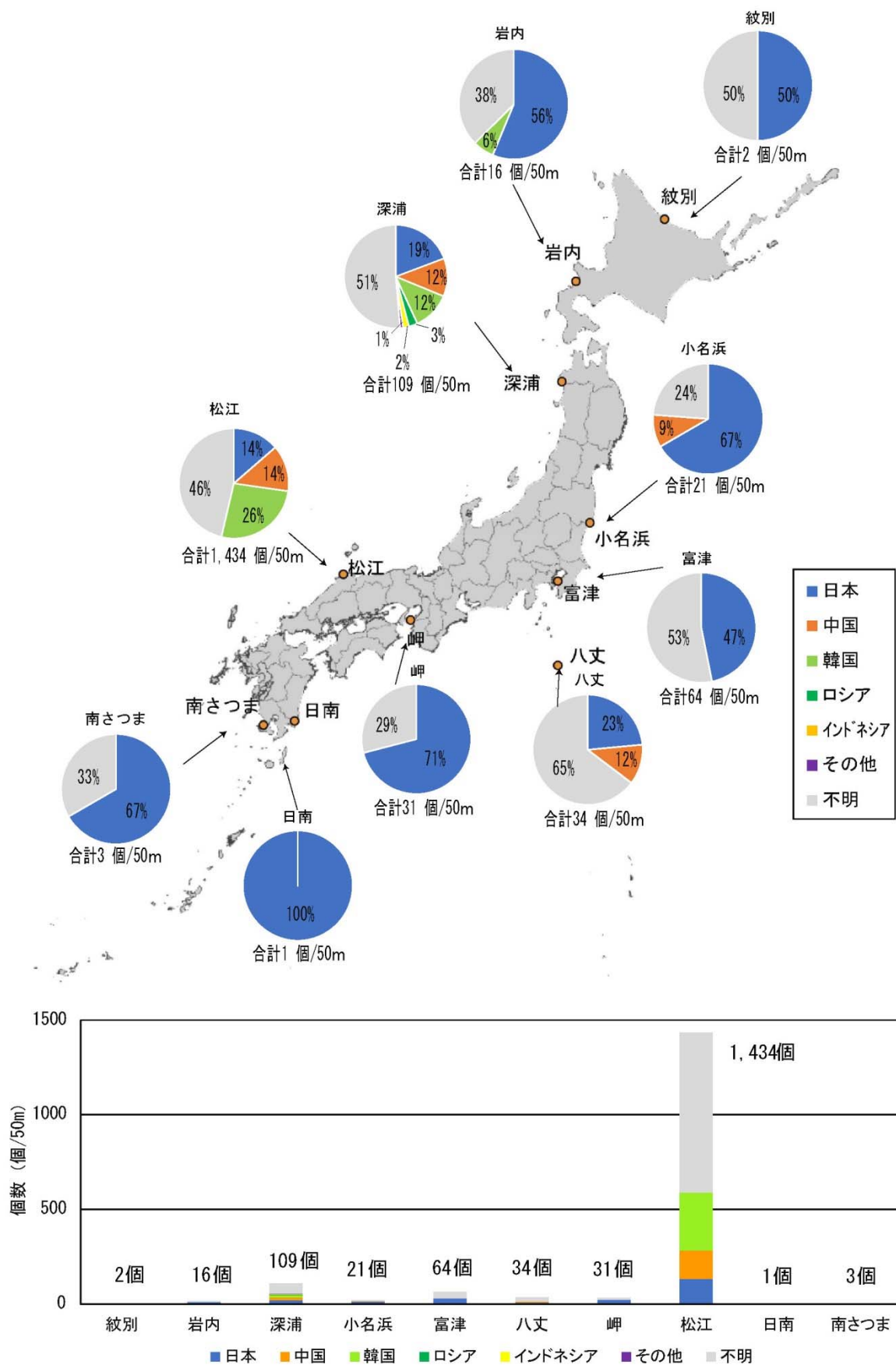


図 3.2-3 キャップ・ふたの言語表記別割合（調査地点別）